

【技術分類】 3-3-6 表示器関連／告知・演出機能／その他

【技術名称】 3-3-6-1 音によるもの

### 【技術内容】

音による告知演出は、サウンド（楽曲）、音声（セリフ）、効果音の3種類に大別される。従来は音源をメインロムに詰め込む必要があり、聞き取りやすさに配慮された特定の電子音のみが多用されていたが、現在は音源を別のロムを用いて処理できるようになったため、効果音だけでなく楽曲そのものをまるごと演出内に組み込んでいる機種も多い。

音による告知演出の効果としては、遊技感や臨場感の向上、モチーフの再現性を高める、プレイヤーの関心を高める、大当たり時の満足感の向上などが挙げられるが、特に歌手や芸能人、アニメーションなどをモチーフに採用した機種では多用される傾向にある。なお、音の中身は適宜決定できる。

### 1. サウンド

サウンドは主に楽曲や歌手をモチーフとした機種に多用される技術。現行機では液晶画面の背景や内部状態に応じて、別個のサウンド（BGM）が流れる機種も多い。告知演出としても用いられるが、パチンコホール内では聞き取りにくい環境音などを用いる際には、音と共に予告の発生を液晶画面内で告知する場合が多い。

【図1】 サウンドを用いた告知演出の例 イン트로予告



変動開始時に楽曲が一瞬だけ流れ、発展先リーチを予告する。  
※「♪」表示はイメージ

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003年1月27日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：27頁

### 【出典機種】

CRピンクレディー：株式会社大一商会

### 2. セリフ

セリフ演出はボイス演出とも呼ばれ、アニメーションや芸能人・歌手タイアップ機で良く用いられる。特にアニメーションタイアップ機では声優の肉声を用いることにより、モチーフの再現性を高める効果がある。搭載機種としては、セリフによる信頼度告知機能「ヘブンリーボイス」を搭載した「モナキストファイヤー」（奥村）などがある。

### 3. 効果音

パチンコ演出で用いられる効果音はセリフやサウンドとは異なり、パチンコホール内でも聞き取りやすい音が用いられやすく、リーチや大当たりの発生と密接に関連する演出が多い。代表的な効果音としては、アレパチのリーチ成立時に発生する「ピュイ」音、三共製ドラム機で用いられる「カーン」などが挙げられる。

#### 4.BGM 選択機能

大当たり中の BGM や通常時の入賞時に流れるサウンドの選択機能を備えた機種も存在する。大当たり中の BGM 選択機能は、2004 年にリリースされた「CR マーメイドザブーン<sup>※1</sup>」(サミー) で用いられ、以降は歌手タイアップ機などで良く用いられている。一方、入賞サウンドの選択機能は、「CR モナキスト」(奥村) を始め、普通機タイプで良く用いられている技術である。

BGM やサウンドを選択することにより、プレイヤーは遊技台をアレンジして遊技できることができただけでなく、特定条件を満たすことで選択できる楽曲などを増加することにより、大当たり中の満足感を高め、探究的要素やプレミアム感を充足させることにも繋がる技術である。

また、普通機タイプでは入賞時のサウンドを発生させないサイレントモードを搭載している機種もあり、「チューリップ 8」(ニューギン) では、パチンコ機初となるプレイヤーによる音量調整機能を搭載している。

これらの機能は BGM やサウンド、効果音などがゲーム性の重要な位置付けになる機種では、今後多用される可能性がある。

※1 「マーメイドザブーン」：サミー株式会社の登録商標

【技術分類】 3-3-6 表示器関連／告知・演出機能／その他

【技術名称】 3-3-6-2 ランプによるもの

【技術内容】

ランプを用いた告知演出は、ランプの点灯や点滅によるパターンが主となり、これらのパターン等は適宜決定できることであるが、演出のバリエーションを持たせにくいため、幅広い役割を有する告知演出としてはあまり用いられない。従って、大当たり告知や高信頼度演出、信頼度を表示する、液晶演出に対する臨場感を向上させるなど、ランプによるシンプルさとわかりやすさを活用しやすい局面で多用される。なお、ランプの配置、点灯パターン等は適宜決定できる点である。

【図1】 ランプを用いた高信頼度予告の例



目の部分が光ることで、高信頼度を告知する。

出典：(左、右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：228頁

【出典機種】

恐竜天国：豊丸産業株式会社

【図2】 ランプによる大当たり告知の例



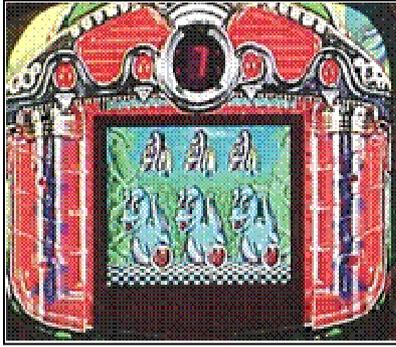
盤面左右の「しゃちほこランプ」が点灯すれば、大当たり確定となる。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003年1月27日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：41頁

【出典機種】

CRお江戸でごじゃる<sup>※1</sup>：株式会社ニューギン

【図3】大当たりを先告知する「先光り」の搭載例



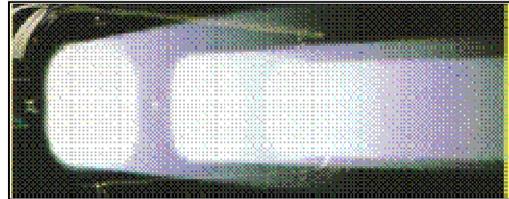
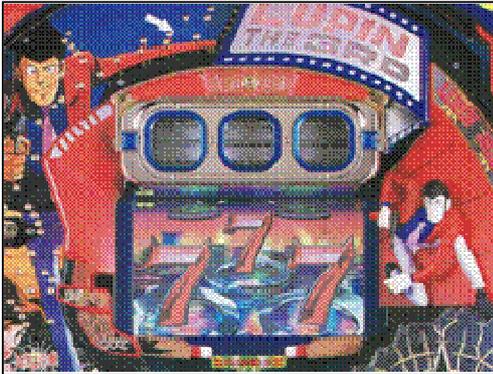
変動開始時に液晶周囲のランプがフラッシュし、大当たりの発生を予告する。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '97」、発行年月日：1997年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：95頁

【出典機種】

C R 冒険島：株式会社三洋物産

【図4】演出効果を高めるランプ役物の例



サーチライトが点灯し、スーパーリーチを予告するだけでなく、演出効果を高める役割も担っている。

(C)モンキーパンチ/TMS・NTV

出典：(左、右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003年1月27日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：32頁

【出典機種】

C R ルパンザサード：株式会社平和

【図5】パトランプによる大当たり告知機能を搭載



(C)KYORAKU



パトランプはパチスロの大当たり告知として良く用いられており、当機のゲーム性はパチンコとパチスロの演出を融合させた内容となっている。

出典：(左) パチンコビレッジ機種情報

関連項目「トップページ>パチンコ・パチスロ機種情報>機種名検索 (パチンコ) ぱ行>CR  
ぱちんこハイサイVR」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/2001mac/crpachinkohaisaivr/crpachinkohaisaivr.html>

検索日 2007年1月18日

: (右) パチンコビレッジ機種情報

を元に改変

関連項目「トップページ>パチンコ・パチスロ機種情報>機種名検索 (パチンコ) ぱ行>CR  
ぱちんこハイサイVR」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/2001mac/crpachinkohaisaivr/crpachinkohaisaivr.html>

検索日 2007年1月18日

**【出典機種】**

CRぱちんこハイサイ：京楽産業. 株式会社

※1 「お江戸でごじゃる」：株式会社ニューギンの登録商標

【技術分類】 3-3-6 表示器関連／告知・演出機能／その他

【技術名称】 3-3-6-3 役物によるもの

### 【技術内容】

現行機では役物による告知演出は多く用いられており、予告やリーチ演出、再抽選演出など、非常にバラエティに富んだ内容となっているが、どのような演出として用いるかは適宜決定できることに過ぎない。

役物による告知演出の起源に充たる演出は「ピカイチ天国」（豊丸）の「運の強さメーター」であると言われている。当演出はメーターの点灯状況によって、当該変動の信頼度を表示する画期的な役物演出であった。その後、ルーレット役物による信頼度表示、スーパーリーチへの発展を予告する役物など、役物演出の細分化が図られ、現在では大半の機種で役物を用いた演出が搭載されている。なお、役物の形状・動作等は、表示内容と同様、適宜決定できることである。

【図1】「運の強さメーター」の搭載例



液晶上部に配置されたメーターの点灯状況によって、当たりの期待度を告知する。

出典：（左、右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2000」、発行年月日：2000年2月11日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：99頁

### 【出典機種】

ピカイチ天国1：豊丸産業株式会社

【図2】ルーレット型役物による信頼度表示演出の搭載例



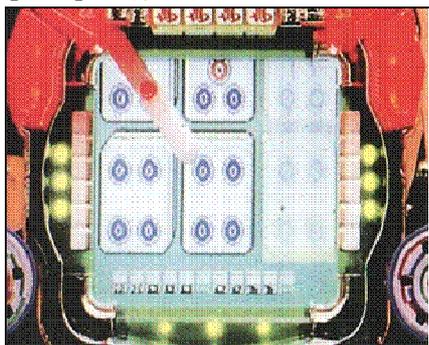
リーチ時に手前に表示された数値が大当たり期待度を表示する。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '96」、発行年月日：1996年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：135頁

### 【出典機種】

ブラボーロイヤル<sup>※1</sup>：株式会社平和

【図3】点棒を用いたスーパーリーチ予告の搭載例



スーパーリーチ発展時には必ず作動するため、スーパーリーチ告知としての意味合いが強い役物演出である。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '97」、発行年月日：1997年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：111頁

【出典機種】

CRレモン牌：株式会社平和

【図4】複数の段階に渡って作動する役物の例



液晶上部の扇形役物は最大4段階の作動パターンを有し、発展するほど、信頼度が高まる仕組みとなっている。

出典：株式会社サンセイアールアンドディホームページ

関連項目「トップページ>2005>忍術決戦<sup>※3</sup>CR影<sup>※4</sup>>製品情報ページへ>予告」

<http://www.sansei-rd.com/products04/kage/yokoku.html>

検索日：2007年1月18日

【出典機種】

忍術決戦<sup>※3</sup>CR影<sup>※4</sup>：株式会社サンセイアールアンドディ

※1「ブラボーロイヤル」：株式会社ソフィアの登録商標

※2「ミスターマジック」：株式会社ソフィアの登録商標

※3「忍術決戦」：株式会社サンセイアールアンドディの登録商標

※4「影」：株式会社サンセイアールアンドディの登録商標

【技術分類】 3-3-6 表示器関連／告知・演出機能／その他

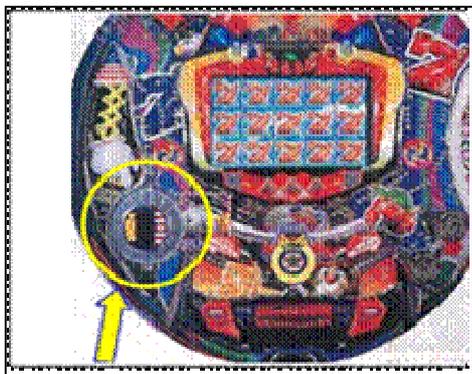
【技術名称】 3-3-6-4 スキップ演出

#### 【技術内容】

演出をプレイヤーが任意に省略し、瞬時に図柄停止もしくは停止直前の状態にさせることを「スキップ」と呼ぶ。2003年にリリースされた「CRブラボーファイブ<sup>※1</sup>」シリーズ（平和）で初めて用いられた技術である。

スキップ機能の効果としては、無駄な演出をカットできるため、変動消化時間が劇的にアップする、意外性のある大当たりパターンを演出できるなどが挙げられる。当機のリリース以降は、多数のメーカーで採用されたが、現在では使用されていない。これは「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」内の「別表第四 ぱちんこ遊技機に係る技術上の規格」の「(1) 性能に関する規格」の「へ 特別電動役物、条件装置及び特別図柄表示装置の性能に関する規格」において、「(カ) 遊技球が始動口に入賞した時から特別図柄表示装置に図柄の組合せが表示される時までの時間は、あらかじめ定められたものであること。」とあり、当装置は表示時間を予め定めているにもかかわらず、プレイヤーの意志により、任意に調整することを可能とする性能を持つ装置とみなされたためと推量される。

【図1】 スキップセンサー初搭載



液晶左下のスキップセンサーに触れるだけで、瞬時に図柄を停止させることができる。なお、どのタイミングで停止させても大当たり判定とは無関係である。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイドスーパーリーチ年鑑 2004」、発行年月日：2004年1月29日、  
編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：136頁

#### 【出典機種】

CRブラボーファイブ<sup>※1</sup>：株式会社平和

※1 「ブラボーファイブ」：株式会社平和の登録商標

【技術分類】 3-3-6 表示器関連／告知・演出機能／その他

【技術名称】 3-3-6-5 特定条件下のみ発生

【技術内容】

特定条件下のみ発生する告知・演出機能としては、変動短縮時や確率変動中、時短中などに発生する図柄変動の省略・短縮演出が挙げられる。

図柄変動の省略・短縮演出の発生条件としては、保留が一定個数以上貯まっている状態、もしくは確率変動中、時短中などが挙げられ、条件を満たさない限り、発動もしくは発生しないのが特徴である。

図柄変動の省略・短縮演出のパターンとしては、図柄が変動している時間を短縮させるもの、図柄の変動自体を行わず、最終停止図柄を直接表示するものなどがある。この図柄変動の省略・短縮演出を活用することによって、時間効率を大幅に向上させる効果があり、現行機の多くで用いられている技術である。なお、図柄変動の省略・短縮の演出は適宜決定できるものである。

なお、こういった条件において発生するかはルールであって、適宜決定できることである。

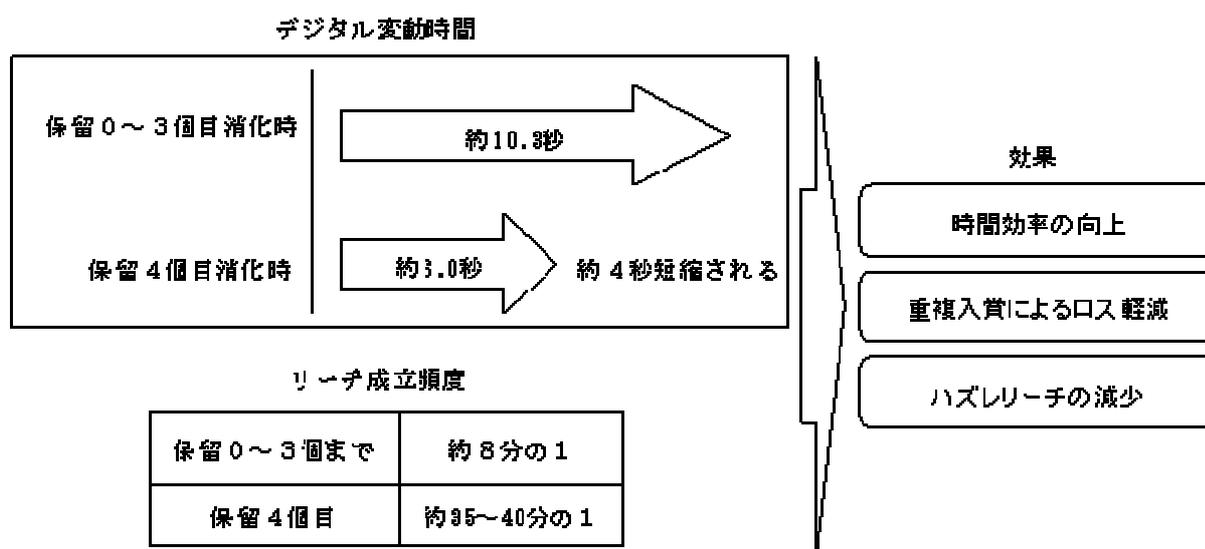
1.変動短縮機能

変動短縮機能とは、一定個数以上保留が貯まっていることを条件に、変動消化時間を短縮する機能である。主にリーチ不成立時に発動する。

2.ハズレ時のリーチ省略機能

1999年にリリースされた「CR熱血冒険王<sup>※1</sup>Z」（西陣）では変動短縮機能と共に、ハズレリーチの発生頻度を抑えることで、時間効率の向上が図られている。この機能は時間効率が重視される機種で良く用いられている。

【図1】 保留変動とリーチ省略機能の効果



出典：本標準技術集のために作成

【出典機種】

CR熱血冒険王<sup>※1</sup>Z：株式会社西陣

### 3. 確率変動・時短中の演出省略機能

確率変動・時短中の演出省略機能は、確率変動・時短中における時間効率の向上に効果を発揮する機能で、特に遊技時間における確率変動や時短中の比率が長めのスペックで多用される。機種によって省略対象となる演出が異なる。主に大当たりが期待できないノーマルリーチやリーチ不成立時の予告は省略の対象になりやすく、機種によってはリーチ演出の全てを省略するケースもある。

※1「熱血冒険王」：株式会社ソフィアの登録商標